

「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ
小金井市議会議員／情報公開こがねい

週刊 渡辺大三 NEWS



【会派 NEWS】 2021(令和3)年1月14日 週刊 vol.72

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

職員採用試験の個人情報漏洩 面接官が会場に申込書(職歴等記載)を置き忘れ

1月10日、小金井市役所において、職員採用試験応募者の個人情報漏洩する事件が発生しました。

職員採用試験の面接試験は、前日(9日)、議会応接室で行われました。その際、面接官となった管理職者(課長職)が、受験者の職歴等の個人情報記載された申込書(3人分)、面接試験実施要領、試験実施マニュアル、当日の日程表を机の下に置き忘れ、そのまま帰宅…。

翌10日、議会応接室を市民との打ち合わせで使用した市議会議員(水上議員)によって発見されました。職員採用試験に関する個人情報は、市議会議員にも開示されませんので、漏洩したことになります。

私も、10日の打ち合わせには参加しましたので、水上議員からその場で話を聞きました。そして、その場で市当局(部長職)に連絡し、なぜこのような個人情報漏洩事件が発生したのかと、再発防止策に関する報告を求めました。

1月12日の会派代表者会議(非公開)の席上で、一定の説明はありましたが、きちんと市民に公開される場でも説明を必要があることから、今後、市議会の所管委員会(総務企画委員会)で一定の報告がなされるものと思います。

再発防止策としては、面接終了時点で、きちんとチェックリストを用いて個人情報を回収すること、が極めて重要です。

また、議会応接室を用いて面接試験を実施したとのことですが、当日は土曜日で閉庁日となりますから、行政の会議室はたくさん空いていたはずですが、庁議室であれば、市長などの理事者や職員以外は使用しません。もちろん個人情報の置き忘れなどは論外なのですが、万一を考えれば、行政以外の者が使用することを主目的とした会場を面接試験に使うのは不適切だとも言えます。

正月早々、このようなコンプライアンス意識が問われる事件が発生し、残念です。

財政上可能か、見通しないまま実施設計…

庁舎及び福祉会館建設問題 市財政は「崖っぷち」

小金井市の庁舎及び福祉会館建設問題は、建設費を支払うことができるかどうか不明なまま「実施設計」を進めるという極めて異常な事態となっています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、10

月時点ですら、市財政の将来見通しは「崖っぷち」状態でした。これは、その後の急速な感染拡大を含まない段階のものであり、事態はそれ以上に悪化していることは疑う余地もありません。

昨年10月2日の市議会全員協議会で、西岡

市長は、「今後、実施設計の取りまとめを完了させ、建設関連経費の財政的な裏付けを明確に示すことで、現実的な事業となり得ますが、財政的な裏付けを見極めるプロセスとしては、令和3年度の当初予算編成や、令和3年度の6月以降、施工工事についての関連予算上程を想定する時期が大きなポイントになると考えています。庁舎等複合施設建設は、市民を始め市議会の皆様と共に進める将来に向けた重要な建設事業であります。引き続き、庁舎等複合施設の竣工を目指し、財政の裏付けを持った実現可能な事業であることをご理解いただけるよう、鋭意努力してまいります」と発言。

つまり、現時点において、財政上、実施設計どおりに建設することができるかどうか明らかにすることができませんでした。「現実的な事業」であることを証明できないまま、実施設計だけは完了させるというのでは、あまりにも無責任な行政執行です。私も、こんな乱暴なやり方は、小金井市政において見たことがありません。

通常、庁舎等の公共施設や公益施設の建設は、建設費を財政上負担できるかどうかをまず先にあり、財政上可能な範囲で設計することが当然です。無理な支出をすれば、他の市民サービスの低下や、増税などを招くからです。

すでに市民団体(庁舎と福祉会館の建設を考える会)が、建設費を10億円以上削減できる対案(市民案)を明らかにしているのですから、財政的に可能かわからないような実施設計を進めるのではなく、一刻も早く余計なお金をかけない方法に転換すべきです。

1月22日から始まる令和3年第1回定例議会では、来年度予算が審査されますが、当然のことながら、今後の市財政の見通しについても厳しく問われることとなります。

現状、西岡市長が、財政上建設できるかどうかを明らかにできないまま実施設計を進めている点に関しては、極めて重要な問題ですので、ぜひご留意ください。定例議会の中でどういう議論になっているかは随時ご報告いたします。

「桜を見る会」の全容解明を 意見書を可決

12月21日、小金井市議会は、「『桜を見る会』前夜祭に係る疑惑に関して、安倍前首相を国会招致し、全容解明を行うことを求める意見書」を賛成13・反対9・退席1で可決しました。

賛否は以下の通りでした。

○賛成⇒情報公開こがねい(渡辺大三)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

×反対⇒自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)。市民会議(斉藤)。

▲退席⇒改革連合(篠原)。

吉川元農水相の疑惑究明求める 意見書を可決

12月21日、小金井市議会は、「吉川貴盛元農水相・衆議院議員の現金授受に関する疑惑の真相究明を求める意見書」を賛成18・反対4・退席1で可決しました。

鶏卵業者からの現金授受問題に関する意見書です。

賛否は以下の通りでした。

○賛成⇒情報公開こがねい(渡辺大三)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)。

×反対⇒自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)。

▲退席⇒改革連合(篠原)。

*五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。

◆渡辺大三略歴◆

1966年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(本社:仙台市)に就職し、新聞記者。衆議院議員秘書を経て、男性最年少の26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選/最近4回の選挙はいずれも無所属で立候補)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学会会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。